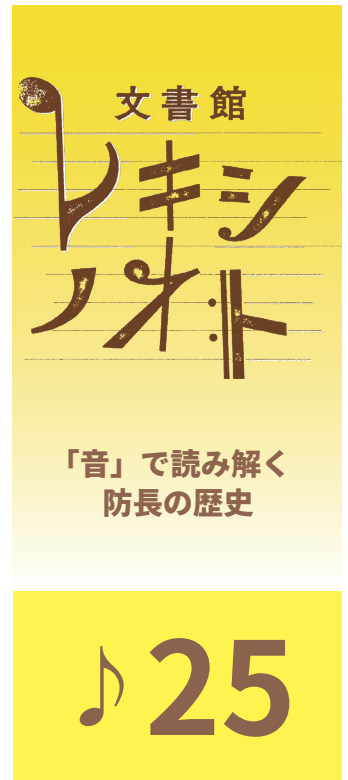
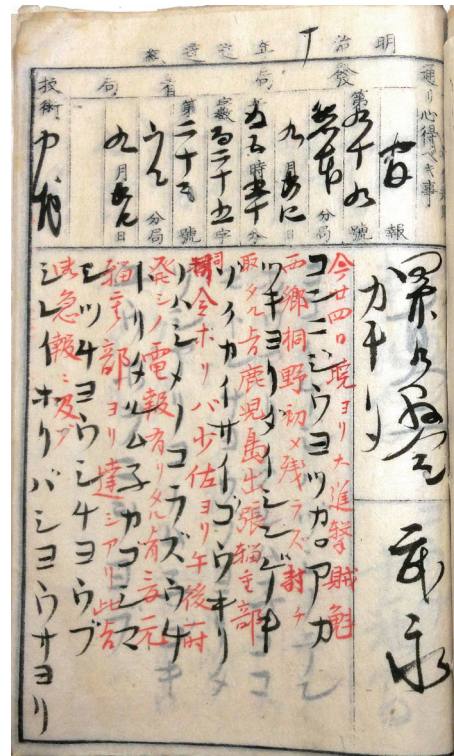
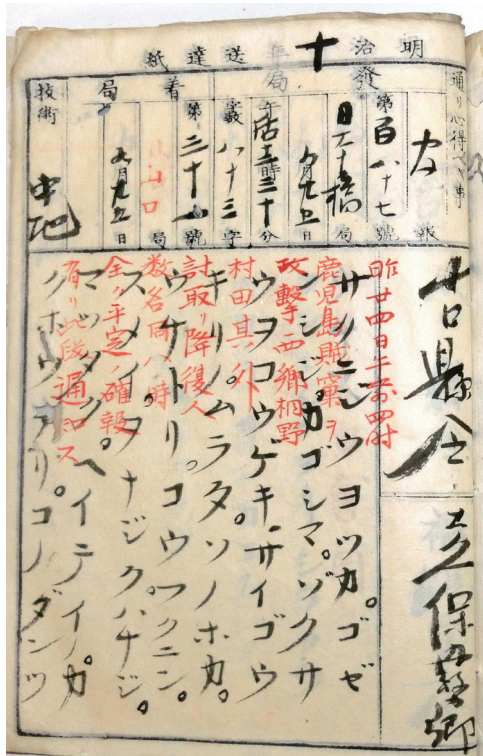




「熊本県暴動電報原書」（県庁戦前A総務380）

## 戦いノオト⑧

## 西南戦争と電報

### 【新しい音、電信】

明治2年（1869）12月、東京・横浜間で電信が開通し、電信事業が始まりました。その後、6年2月に東京長崎線、7年10月に東京青森線が開設され、10年2月までには北海道、本州、四国、九州の四島が電信で結ばれました。山口県では、東京長崎線開設後、10年12月、同線から分岐した線が萩まで通じました。電信路は全国に延び、24年末時点、離島を除きほぼ全国を網羅したといえます（逓信省伝務局『電信沿革略史』明治25年刊行）。

明治前期、電信という新しい「音」が全国に響き、情報がすばやく伝達されるようになったのです。

### 【西南戦争】

電信の幹線が北海道から長崎までつながったのと同時期、明治10年2月、新政府の政策に不満をもつ九州の士族たちが、西郷隆盛を擁して大規模な反政府戦争、いわゆる西南戦争を起こします。各地で起きた士族反乱としては最大、最後のものでした。

戦争は西郷軍による熊本鎮台（熊本城）への攻撃で始まりました。政府は徴兵令に基づく軍隊を派遣してこれに当たり、次第に西郷軍を追い詰めていきました。敗色が濃厚となり、各地を転戦した西郷軍は、9月に鹿児島に突入し城山にたてこもります。しかし、同24日、午前4時の号砲を合図に始まった政府軍の総攻撃により、午前9時までに西郷らが戦死し戦争は終わりました。

### 【西南戦争と電信】

西南戦争時、政府と関係各県は、電信を用いて情報をやり取りしました。かつてないスピードでの通信は、戦争に勝利する上で有利に働きました。当館には、西南戦争時、明治10年2～9月の間に、山口県庁と九州各地、あるいは東京との間などでやりとりされた電報文が数多く残されています（裏面一覧参照）。

どの電報文も、西南戦争期の生々しい状況を伝えるものです。そのいくつかを紹介しましょう。



山口県と西南戦争

山口県も西南戦争と無縁ではありませんでした。政府軍に物資を運ぶ人夫（輜重夫）が県内から数多く動員され、戦地へと派遣されました。

彼らの中には九州で病気になったり、命を落とした者もありました。また、巡査や壮兵の名目で募集され派遣された県内士族も数多くいました。

当館蔵「西南之役出兵名簿」「萩熊本暴動警備功労者履歴（県庁戦前A総務385・388）などによって彼らを知ることができます。

- ① 2月16日、京都滞在中の木戸孝允から山口県宛での電報・・・西郷挙兵の動きに伴い、木戸が山口県内、特に萩に不穏な動きが生じないかを非常に気にしていたことがわかるもの

「薩摩ハ是非大挙シテ討タネハナラヌ、又山口県又々ゴタ付キテハナラヌ、萩表ノ警察肝要ナリ、他県不平ノ徒必ス騒クヘシ驚ク事ナカレ、萩表ノ趣、屢々報知ヲ待ツ」

- ② 4月15日午前10時20分、久留米から山口県庁宛での電報・・・西郷軍が熊本城包囲を解いた14日のようすを伝えるもの

「昨十四日木留・植木休戦、熊本近辺激烈ノ砲声有リ」

- ③ 以下、戦争の終結を伝える電報

- 9月24日午後5時50分、武永（熊本駐在の県職員）より関口県令宛での電報

「今廿四日暁ヨリ大進撃、賊魁西郷・桐野初メ残ラ

ス討チ取タル旨、鹿児島出張輜重司令堀場少佐ヨリ午後一時発シノ電報有リタル旨爰元輜重部ヨリ達シアリ、此旨御急報ニ及フ」

- 同日午後6時30分、鹿児島県令より山口県宛で「本日官軍鹿児島城山へ攻撃、賊魁西郷隆盛・桐野利秋其他討取り、或ハ降復（ママ）致候、此段御通知ニ及ヒ候」

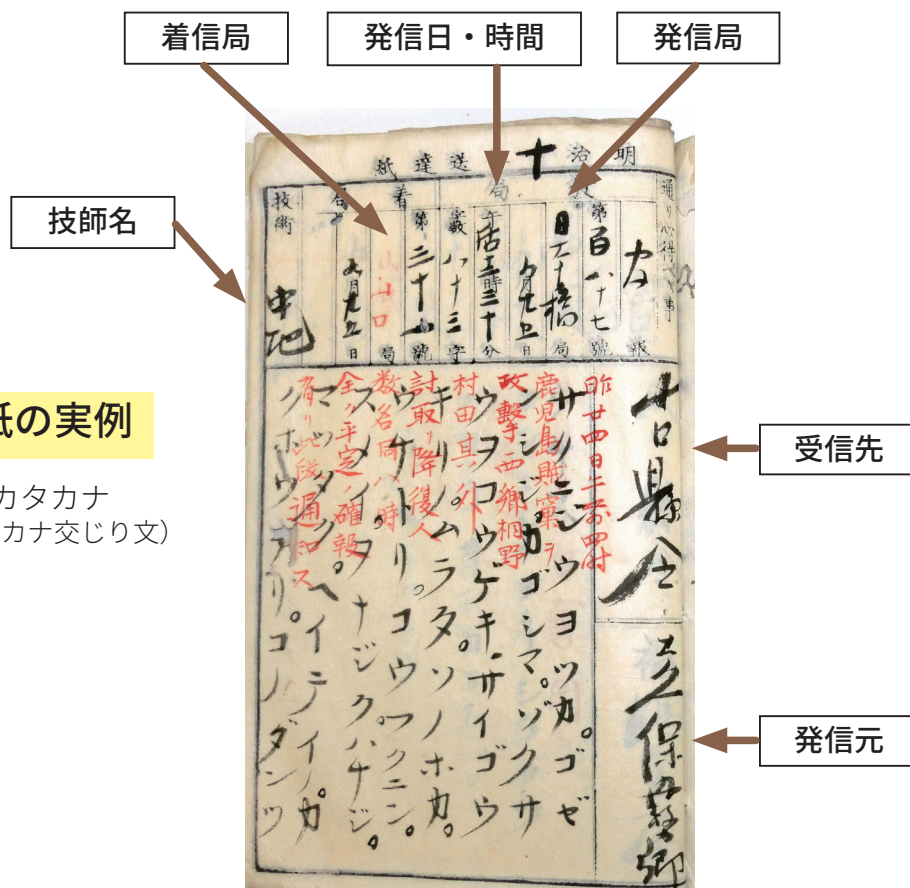
- 9月25日午後12時30分、内務卿大久保利通より山口県宛で

「昨廿四日午前四時、鹿児島賊窠ヲ攻撃、西郷・桐野・村田其外討取り降復人数名、同八時全ク平定ノ確報有リ、此段通知ス」

なお『電信沿革略史』は、西南戦争があらためて電信の重要性を認識させる結果となり（「国事上大ニ必要ノ度ヲ進メ」）、そののち「九州幹線ノ連環」（九州一環の電信路、11月竣工）と「四国線ノ新設」（高松～徳島間、12月）につながったと説明しています。

### 電報送達紙の実例

電報本文はカタカナ  
（朱書は漢字・カタカナ交じり文）



### 当館が所蔵する西南戦争関係の電報一覧

| 請求番号           | 標題           | 内容年月日                | 内容                                                      |
|----------------|--------------|----------------------|---------------------------------------------------------|
| 県庁戦前A<br>総務379 | 熊本県暴動電報郵便往復録 | 明治10年3月16日<br>～7月11日 | 熊本県木葉に設置された山口県の出張所が発信・受理した電報・郵便を綴じ込んだもの。輜重夫動員に関するものが多い。 |
| 県庁戦前A<br>総務380 | 熊本県暴動電報原書    | 明治10年8～9月            | 山口県が発信・受理した電報を綴じ込んだ記録                                   |
| 県庁戦前A<br>総務381 | 熊本県暴動電報      | 明治10年2月              | 明治10年2月に山口県が発信・受理した電報を書き写したもの                           |
| 県庁戦前A<br>総務382 | 熊本暴動往復録      | 明治10年3月              | 明治10年3月に山口県が発信・受理した電報を書き写したもの                           |
| 県庁戦前A<br>総務383 | 熊本暴動往復録      | 明治10年4月              | 明治10年4月に山口県が発信・受理した電報を書き写したもの                           |
| 県庁戦前A<br>総務384 | 熊本暴動往復録      | 明治10年8月～9月           | 明治10年8月1日～9月30日に山口県が発信・受理した電報を書き写したもの                   |